

2023 (令和5) 年 2 月 22 日

名古屋文理大学短期大学部 学長 殿

動物実験責任者
所属：食物栄養学科
氏名：川畑 龍史
連絡先：第二理化学研究室

動物実験結果報告書

名古屋文理大学短期大学部動物実験規程第 1 1 条第 2 項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

1. 承認番号	22-1
2. 研究課題名	動物の解剖 (ラット)
3. 実験の結果 (該当項目にマークし、その概要を簡潔に記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり実施 <input type="checkbox"/> 一部変更して実施(*) <input type="checkbox"/> 中止
	結果の概要 名古屋文理大学短期大学部1年生「解剖生理学実験」において、1クラス9匹 (各班1匹、別に教員によるデモンストレーション用として2匹)、計27匹のラットの解剖を行った。
4. 成果 (予定を含む) (得られた業績、例：雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載、必要に応じて別紙に記載)	解剖のステップごとに、学生に記録 (スケッチおよび所見の記入) をとらせ、頸部・胸部・腹部を中心に臓器の観察および位置関係を習させた。 解剖実施後はすべての標本をエタノール液浸保存し、次週の実習で各器官についてさらに詳しい観察・記録を行った。 後日、レポート課題として記録および考察等を記載、提出させ、成績評価を行った。
5. 特記事項	

* 変更届が提出されていること

2023（令和5）年 2月 22日

名古屋文理大学短期大学部 学長 殿

動物実験責任者
所属：食物栄養学科
氏名：川畑 龍史
連絡先：第二理化学研究室

動物実験結果報告書

名古屋文理大学短期大学部動物実験規程第11条第2項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

1. 承認番号	22-2
2. 研究課題名	動物の解剖（ラット）
3. 実験の結果 (該当項目にマークし、その概要を簡潔に記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり実施 <input type="checkbox"/> 一部変更して実施(*) <input type="checkbox"/> 中止
	結果の概要 名古屋文理栄養士専門学校1年生「解剖生理学実験」において、9匹（各班1匹、別に教員によるデモンストレーション用として2匹）のラットの解剖を行った。
4. 成果（予定を含む） (得られた業績、例：雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載、必要に応じて別紙に記載)	解剖のステップごとに、学生に記録（スケッチおよび所見の記入）をとらせ、頸部・胸部・腹部を中心に臓器の観察および位置関係を学習させた。 解剖実施後はすべての標本をエタノール液浸保存し、次週の実習で各器官についてさらに詳しい観察・記録を行った。 後日、レポート課題として記録および考察等を記載、提出させ、成績評価を行った。
5. 特記事項	

* 変更届が提出されていること

2023（令和5）年 2月 22日

名古屋文理大学短期大学部 学長 殿

動物実験（終了・中止）報告書

動物実験責任者名

所属：食物栄養学科

職名：准教授

氏名：川畑 龍史



承認番号 22-1 及び 22-2 の動物実験計画を下記のとおり、終了しましたので報告致します。

記

1. 実験（終了・中止）年月日 2023（令和5）年 1月 16日
2. 実験動物の処分年月日 2023（令和5）年 2月 13日
3. 外部業者への引き渡し日 2023（令和5）年 2月 13日
4. 備考
処理業者（株式会社美濃ラボ）による 2023/2/14 付の焼却処理完了報告（焼却処理確認伝票）を確認。

2023(令和5)年 2月 22日

名古屋文理大学短期大学部 学長 殿

動物実験責任者名

所属: 食物栄養学科

職名: 准教授

氏名: 川畑 龍史



令和2年度使用実験動物種等及び使用数報告書

1. 飼養保管施設名: 理化準備室

2. 実験動物

動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質
ラット(リタイア)	Wistar/ST	雄	19	SPF動物
ラット(リタイア)	Wistar/ST	雌	17	SPF動物

3. 実験動物の入手先

導入機関名: 日本エスエルシー株式会社

納入日: 2022/11/21および11/28

4. 実験動物の処分

処分業者名: 株式会社美濃ラボ

引き渡し日: 2023年2月13日

以上